

レジメン名

5-FU+CDDP

出典 JCOG9907  
JCOG1314

実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患

食道癌

進行・再発  
 補助療法(術前・術後)

投与減量の基準

その他			

1コース期間   
(次のコースまでの標準期間)

総コース数

※補助療法の場合は2コース

投与中止の基準

ANC	1000/mm <sup>3</sup> 未満*	PLT	5万/mm <sup>3</sup> 未満*
Hb	8.0g/dL未満*	CLcr	60mL/min未満
AST,ALT	100IU/L以上	T-bil	1.2mg/dL以上
その他	血清CR: 1.2mg/dL以上 ※出典では中止基準が厳しいためGrade3で設定		

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
フルオロウラシル(持続静注)	800mg/m <sup>2</sup>	輸液1500mL	24時間	day1-5
シスプラチン	80mg/m <sup>2</sup>	輸液適量計500mL	2時間	day1

1日投与順 (経時的にプレドニゾン・ホストメドニゾン、 溶解液まで含む)
day1 ① 生食500mL (1時間) ② デキサート9.9mg+アロキシ0.75mg/バッグ(15-30分) ③ フルオロウラシル800mg/m <sup>2</sup> +輸液1500mL (24時間持続 中心静脈より投与) <側管> ④ ソルデム3A 500mL+硫酸Mg 20mL(1時間) ⑤ マンニト15% 500mL(1時間) ⑥ シスプラチン80mg/m <sup>2</sup> +生食適量(2時間) ⑦ ソルデム3A 500mL+フロセミド20mg(90分)
day2-4 ① フルオロウラシル800mg/m <sup>2</sup> +輸液1500mL (24時間持続 中心静脈より投与) <側管> ① デキサート6.6mg+生食100mL(15-30分)
day5 ① フルオロウラシル800mg/m <sup>2</sup> +輸液1500mL (24時間持続 中心静脈より投与) ② 生食50mL (day6のみ フラッシュ用)
<内服> day1-3 アプレピタントカプセル(day1: 125mg、day2-3: 80mg)